

## 死生学研究会・全体セミナー

### 「生と死の討論」のテーマ

一人称の死（自分の死）、二人称の死（身近な人の死）、三人称の死（それ以外の人の死）、がんの告知、余命告知、死の不安の解消、緩和ケア…体の痛みのケアと心の痛みのケア（死・病気・経済的不安等）、死の不安のケア、延命治療、安楽死、尊厳死、脳死、自殺・自死、自殺の原因、うつと自殺、孤独死、ホスピス、在宅ホスピス、終末期医療（ターミナルケア）、グリーフケア（悲しみのケア）、死生学、死とは、生とは、命とは、世界の死生観の歴史、死生観の確立、死への準備、なぜ死んではいけないの…？、泣く事の意味、千の風…、宇宙図、ビッグバン宇宙～人類の誕生（死の自覚）、太陽の死と人類の終焉、自分図の作成、自己と自我、死別の悲しみ、瞬生五十年、禅と禪の悟り、不坐禪の禪、鈴木正三、鈴木大拙、命の叫び、書きなぐり、心の開放と自由の獲得、無とは、生命倫理、古代エジプトとギリシャ時代・ソクラテス・プラトンの靈魂観、ハイデガー・存在と時間。

宗教、自力と他力、禅宗・浄土真宗等、仏教、キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、儒教・道教、バラモン教、ヒンドゥー教、チベット仏教、原始仏教・小乗仏教（自利）・大乗仏教（利他）、大乗仏教と空の思想、般若心経、歎異抄、密教、日本の仏教、神魂観・仏教観・神仏習合、神道と仏教、位牌、戒名、日本人の死生観・靈魂観・宗教観・あの世観、臨死体験、輪廻と転生、生前葬、来世・天国・靈魂・魂・神仏、その他…。

◇当セミナー（講演会）は死の哲学的考察に基づいており、宗教・宗派の是非論、通常言われている靈や死後・来世・神仏などの存在論はテーマから除きます。